

平成二十九年 論語に学ぶ人間学セミナー

好評を受けて今年で九年目に入った論語セミナー。昨年も使用していた「仮名論語」に加え、「図解論語 正直者がバカを見ない生き方（齋藤孝著）」をテキストに学んでおります。後半の講義は、憲法について学ぶセミナーとして十二月までの講座となっています。いつからでも参加できますので、龍野商工会議所のHPや本誌折込みチラシにて申し込みください。

人間学セミナーも今年度最終回となります。はじめは仮名論語の素読となります。参加者全員が姿勢を正し、朗読していきます。会場全体がピシッと引き締まった雰囲気となり、学びの姿勢を体感できます。三木英一先生からも、『よく声が揃っていますね』とお言葉をいただきました。

仮名論語 郷黨第十

こうもん い きつきゅうじよ

公門に入るに鞠躬如たり。

公門をくぐるときは、まるで門に入りきれないようにされた。

『鞠躬如』とは身をかがめ、慎ましい様ということで、孔子が日頃からそのような立居振舞されていた様子であると三木先生より解説いただきました。この章は、孔子のさまざまな日常生活の中で所作や表情を細かく描写し、そこから孔子の内面を表現されていました。三木先生から、「描写表現により、独特の言葉があり、音読するのも非常に難しい章でしょう。それも訓練ですね。」とお言葉をいただきました。

「図解論語 正直者がバカを見ない生き方」（齋藤 孝著）

第四章 生き方編（その四） おわりに

諾。吾れ將に仕えんとす。

今回の図解論語では、正しい『個』の保ち方として、角を立てず、上手にその場をやりすごすことを解説いただきました。年齢に応じて人との付き合いの程度はすこしずつ変化していきます。他人との距離感をうまくとることにより、自分自身＝個をうまく保てるよう、良い社交性を見つけていきたいと思えます。

講話 「家族保護育成、環境保全規定等」

今回の講話は、一年間、憲法を学んできた総論と、今後の憲法改正についてのポイントを、三木先生に御解説いただきました。また三木先生の御本業である教育については、先生の熱い弁を聞かせて頂き、次の世代への期待を感じさせていただきました。

人間学セミナーは自身を磨く為の良い機会になると思えます。皆様のご参加お待ちしております。

次回 平成三十年度 第1回は、二月十四日（水）午後六時三十分からです。